

令和 年 月 日

新潟大学長 殿

所属部局名：
 申請者の職・氏名：
 *部署長（教授等）の了承を得てから申請

海外渡航許可申請書（病院で勤務しない医学系職員用）

下記の内容により海外渡航の許可を申請いたします。

渡航先（国名・都市名） 経由含む	
渡 航 期 間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
滞在先（ホテル等） *URL を記載 滞在中の連絡先 （携帯電話またはメール）	
渡航先での用務内容 * (1)学会や会議の正式名称及び(2)URL 等を記載	
新型コロナウイルスワクチン接種状況	<input type="checkbox"/> 接種済み（接種日：1回目 令和 年 月 日 2回目 令和 年 月 日 3回目 令和 年 月 日 4回目 令和 年 月 日） ※接種証明書の写しを添付すること（最終回接種分のみでよい） <input type="checkbox"/> 接種無し（接種無しの方は生年月日： 年 月 日生）（満 歳）
出張先でコロナ陽性となった場合の事前対応（保険の加入状況等）	<input type="checkbox"/> 出発前に以下の条件を満たす海外旅行保険に加入する ・ 疾病治療費用として、2,000万円以上の補償が受けられること ・ 新型コロナウイルスによる入院等に対応していること
海外渡航を実施しなくてはならない理由、必要性 * (1)本業務の重要性 (2)オンラインでは目的を達成できない理由を含めて記載	

提出先：医歯学系総務課庶務係（shomu@med.niigata-u.ac.jp）

*病院で勤務する職員（臨床系教員等）は医歯学系，大学院医歯学総合研究科所属でも，病院指定の様式で病院総務課に提出してください。

【留意事項】

以下について承知した上で、慎重に計画すること。

- 本邦への全ての帰国者・入国者について、ワクチンの接種証明書（3回）又は出国前 72 時間以内の陰性証明書の提出が求められることから、出国前に有効なワクチンの3回以上の接種を推奨する。
- 出国前や帰国後に PCR や抗原検査を受検し陰性を確認する必要がある場合があるため、日本国内の移動についても十分余裕をもった日程を計画すること。
- 渡航先で新型コロナウイルスに感染した場合、現地での停留が求められ、一定期間、帰国ができずに業務に支障をきたす可能性があること（予約変更可能の航空券が望ましい）。
- 現地で高額な医療費負担が発生する可能性があるため、疾病に対し十分な補償が受けられる海外旅行保険に必ず加入すること。
- ワクチンを接種していない場合には、出入国の制限が厳しいこと、新型コロナウイルスに感染しやすいこと、また、重症化する可能性が高くなることに留意する。同時に、海外では、日本国内に比べ新型コロナウイルスに対する感染予防対策が不十分なことが多く、ワクチンを接種していても感染リスクが一定程度高くなることを考慮する。
- マスクや手洗いを励行し、人込みに入ったり、密集した室内や、飲食を伴う会合は極力避けること。
- 帰国後 3 日間程度は健康管理に気を配り、必要に応じて自宅待機期間（*）をとることや、できるだけ人との接触を避けた行動をとること。特に、期間内（帰国後 3 日間程度）に本学学生及び教職員と接触する機会が想定される場合は、自身による抗原定性検査キット等の検査の実施を推奨する。

*自宅待機期間をとる場合は、「在宅勤務」または「特別休暇」を取得可能